

## 令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	算数科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

調 査 ・ 研 究 の 項 目	A 内 容 の 選 択	○1単元時間ごとの練習問題、単元終了後の「たしかめよう」など、基礎・基本の定着に向けて児童自身で習熟できる内容となっている。  ○イラストや写真が大きく、1単元時間のまとめに繋がる重要事項が、イラスト児童の吹き出しになっており、児童の学習意欲を引き出す内容となっている。  ○1単元時間ごとに、学習に活用できるQRコードがあり、1人1台端末を活用し、個々の能力に応じた学びが充実できるような内容となっている。
	B 構 成 ・ 分 量	○1年生の4・5月に使う教科書は、ワーク形式でA4サイズとなっており、入学当初のノート指導においての配慮がある構成になっている。  ○学習のしあげとなる「たしかめよう」では、問題の分量が調整されている。問題ごとにどのページで学んだ内容かが分かるような構成になっている。  ○単元はじめに、学校や日常生活との関連を重視した場面設定があり、解決したい事柄を明確にしてから単元学習をスタートするような構成になっている。
	C 表使 記用 ・上 表の 現便 及び宣	○本時の主要な問題文が緑色太い枠で囲まれているなど、一貫性のある記述となっている。重要な問題は青くなっているので、習熟度によって問題の量を調整できる。  ○QRコードが豊富であり、面積や角の単元では、図形を意図した場所で切って自由に動かすことができるなど、単元のねらいに応じて実感を伴った理解が期待できる。  ○イラストや写真が豊富で、文字も大きく注目しやすい。筆算や計算の書き方なども表示されており、初めてのノート指導の際に便利である。
	D そ の 他	○教師の発問例などもあり、指導する側に優しい教科書である。  ○2ページに、著名人からのメッセージ（大谷翔平氏、野口聰一氏）が掲載されており、算数に関わるエピソードや今生かされていることなどが書かれている。

## 令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	算数科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

教科書発行者(会社)名	大日本図書
教科書名	新版 たのしい算数
調査	A 内容の選択 ○全ての単元において、新たな問題から課題設定し、まとめ、練習問題という筋道になっており、1単元時間の流れが明確な内容となっている。 ○新しい学習に入る前に、日常生活に合わせた内容を取り扱うなど、児童にとって興味・関心を引き、問題に向き合いやすい内容となっている。 ○練習問題や「プラス・ワン」問題が準備されているなど、基礎・基本の定着と個々の能力に応じた反復練習に工夫がある内容となっている。
研究	B 構成・分量 ○算数の5つの領域（「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」）の配列と系統性が分かりやすく構成され目次に示されている。 ○個々の考えを比較検討している様子の写真掲載があり、協働的な学びの授業イメージがもちやすい構成となっている。 ○学習に役立つデジタルコンテンツや単元の振り返りに役立つ動画など、QRコードへのアクセスで学べるような構成となっている。
の項目	C 表使用・上表の現便及び宜 ○文字の字体が統一され見やすい。問題や活動、表やグラフが視覚的に分かりやすく、見やすく工夫されている。 ○1年生のみが分冊となっている。 ○文字の大きさについて、題名などは大きく、その他のものは題名より小さくなつていて見やすい。
	D その他 ○QRコードが各単元の重要な箇所にあり、理解を深めるため、動画を見たり、自分で図形を操作したりするなどできる。

## 令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	算数科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

調査・研究の項目	A 内容の選択	○単元最後の「ふりかえろう」では、学習指導要領に示されている内容に合った問題を取り上げ、基礎・基本の定着に向けて児童自身が習熟できる内容となっている。 ○どの単元も、考え方モンスター（問題を考える際のヒント）を使って、自分で学習に挑戦できるような内容となっている。 ○単元の導入画面で、四コマ漫画を使用したり、QRコードで練習問題を自分で選べたりするなど、児童の興味・関心が湧くような内容となっている。
	B 構成・分量	○旧教科書にあった「ふかめよう」の発展問題がなくなり、算数の総時数に適切な量に構成されている。 ○大きな単元の前に、関連のある小さな単元が置かれていることで、関連付けながらスムーズに学習を進められるような構成になっている。 ○基礎・基本を定着するための適用問題が基礎的なものに厳選し構成されている。
	C 表使用記用・上表の現便及び宜	○問題と問題の間にスペースが多く取られているため見やすい。まとめが太字で読みやすい。 ○定規の使い方や作図の仕方などには写真を取り入れたり、問題文を分かりやすくするためににはイラストを使い分けたりするなど、児童が思考しやすくしている。 ○問題が具体的にイメージできるように、絵や表、図をたくさん使用している。
	D その他	○QRコードが各単元の重要な箇所にあり、理解を深めるため、動画を見たり、自分で图形を操作したりするなどできる。

## 令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	算数科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

教科書発行者（会社）名	教育出版
教科書名	小学算数
調査	A 内容の選択 ○1単元時間において、児童が数学的な見方・考え方を働かせるポイントを吹き出しに記載するなど、児童の考えが深められる内容となっている。 ○1単元時間で学ぶ重要事項をQRコードで読み取り、動画で確かめられるなど、基礎・基本の定着に向けて児童自身で習熟できる内容となっている。 ○前学年や他教科で学んだことと関連させて単元設定するなど、児童の興味・関心を引き出す内容となっている。
研究	B 構成・分量 ○単元導入時に「どんな学習が始まるかな？」と、新しい問題を把握し、既習事項を使って自分の考えをもたせるよう、構成されている。 ○3年生の単元において、1つ分を求めるわり算（等分除）より、いくつ分を求めるわり算（包含除）を、小数の単元より分数の単元を先に配列している。 ○練習問題に軽重が示され、能力に応じて取り組むことができるよう構成されている。更なる発展問題として、自分で取り組む「ステップアップ算数」が巻末にある。
の項目	C 表使用・上表の現便及び宣 ○児童の思考に寄り添った挿絵や実情に即した吹き出しコメントが多く、主体的に学ぶことができるようになっている。 ○イラストでは、実際の写真を扱う場面が多く、より児童の生活と問題を結び付けやすくしている。 ○コンパスなどを使用した作図では、直接教科書に書き込めるよう、枠が大きくとられている。
	D その他 ○1人1台端末を活用してQRコードを読み取ることで、图形を動かして考えたり、動画で確かめたりすることができる。

## 令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	算数科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

教科書発行者（会社）名	新興出版社啓林館
教科書名	わくわく算数
調査・研究の項目	A 内容の選択
	○全ての単元において、課題発見の場面や本時のめあてが明示されていて、児童が主体的に考えられるような内容となっている。
	○単元導入時の既習事項の確認や、学習後の反復練習などが多数用意されており、基礎・基本が無理なく習得できる内容となっている。
	○日常の事象における課題や生活に即した題材が取り上げられていて興味・関心につながる内容となっている。
構成・分量	B 構成・分量
	○児童の興味の持続性を考慮し、同一領域の内容が連続しないような構成になっている。
	○3年生の内容で、小数より分数を先に扱っており、1の何等分かを意識させてから小数の単元につなげるような構成になっている。
の項目	C 表使記用・上表の現便及び宜
	○1年生の4・5月に使う教科書は、ワーク形式でA4サイズとなっており、入学当初のノート指導においての配慮がある構成になっている。
D その他	○表とグラフの単元では、棒グラフの作図を直接教科書に書き込めるよう、枠が大きくとられている。
	○作図や調査などの活動の場面では、写真や動画（QRコード）を効果的に使用している。挿絵・写真などが見やすく、興味を高められるようになっている。
	○QRコードで解説動画や操作体験ができるようになっている場面が多数用意されており、個別の学習や家庭での学習に適している。
	○巻末に「九九表」などが取り外しできるようになっており、各学年の児童の実態に応じて効果的に活用できる。

## 令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	算数科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

調 査 ・ 研 究 の 項 目	A 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての単元において、新たな問題から課題設定し、まとめ、練習問題という筋道になっており、1単元時間の流れが明確な内容となっている。</li> <li>○練習問題やQRコードを用いての追加問題があり、基礎・基本の定着に向けた反復練習に工夫が見られる内容となっている。</li> <li>○写真が鮮やかで見やすく、実際の写真が多く載っている。問題に応じた資料が多く用いられ、児童の興味・関心を引き出しやすい内容となっている。</li> </ul>
	B 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元導入時に「どんな問題かな？」と問題の意味をつかむページがあり、学習する内容が児童に把握しやすい構成となっている。</li> <li>○算数の5つの領域（「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」）の配列と系統性が分かりやすく構成され目次に示されている。</li> <li>○単元終了後の「たしかめよう」、新単元に入る前の「次の学習のために」など、理解の定着にむけた問題が適切な分量で構成されている。</li> </ul>
	C 表使 記用 ・上 表の 現便 及び宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1単元時間で学ぶ問題の文章記載が平易で一貫性があり、問題の意味を捉えやすい記述となっている。</li> <li>○図形や作図、ジースの中身を動かす問題など、QRコードを読み取ることで、実際に動かすことができる。</li> <li>○問題文の枠は青で、まとめの枠は赤でくくられている。見方・考え方となるポイントが示されており、考える際のヒントとなる。</li> </ul>
	D その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1単元時間の始まりが、全てページトップからである。</li> </ul>